

新南陽総合支所整備に関して寄せられた意見と市の回答

媒体	日時	内容	市の回答
窓口	令和2年8月31日	永源山公園に移設した名誉市民の顕彰碑を建設敷地内に返還願います。	仮庁舎に移転する際、旧新南陽総合支所の中庭に設置していた久楽氏顕彰碑、道源・椎木両氏顕彰碑、非核モニュメント、市制施行記念樹につきましては、永源山公園の広場、展望台等へそれぞれ移設しました。 永源山公園は、旧新南陽市のシンボリックな公園と認識しており、現在のところ適地と考えています。
意見書	令和2年8月28日	新庁舎に歴史展示コーナーの設置を望みます。	元の総合支所は昭和35年に建設され、当時は画期的な庁舎であったと伺っています。先人たちが作り上げて来たまちづくりの取り組みを、後世に伝えていくことは重要と考えますが、新たな総合支所は、コンパクトで機能的な行政事務所を整備する方針としているところであり、展示コーナーなどのスペースについては、この方針を基本に、実施設計の中で具体的に検討してまいります。
メール	令和3年4月28日	現在のイオンタウンのほうが機能的で使いやすい。経費の面からもテナントのほうが合理的ではないでしょうか。	イオンタウン周南は、施設管理費が削減でき、十分な駐車場が確保され利便性が高い等のメリットも大きいものの、賃貸では将来に渡り、安定して行政サービスを提供することに不安があり、災害対策の面からも高潮ハザードマップで浸水が想定される区域であることから、総合支所とすることは適当ではないと考えています。そこで、洪水・高潮・土砂災害・津波の各ハザードマップにおいて、いずれも危険区域に指定されていない、旧総合支所跡地に建設することとしました。
	令和4年5月21日	現在のイオンタウンで問題があるのでしょうか。費用をかけて新たな箱物を建設する必要があるのでしょうか。イオンタウン周南で運営が続けられない理由を明示願います。	現在の新南陽総合支所は、建替えることを前提に移転をしました。また、仮庁舎で総合支所の運営をしつつ、新たな総合支所の整備についても検討してきたところで、その中で、整備に関するご意見を随時募集しておりますが、イオンタウン周南での支所運営を続けるのが適切ではないかのご意見を既に複数いただいております。イオンタウン周南内の仮庁舎であれば、施設管理費が削減でき、十分な駐車場が確保され、利便性が高い等のメリットが大きいものの、賃貸では将来に渡り、安定して行政サービスを提供することに不安があり、災害対策の面からも高潮ハザードマップで浸水が想定される区域であることから、総合支所とすることは適当ではないと考えています。 そこで、洪水・高潮・土砂災害・津波の各ハザードマップにおいて、いずれも危険区域に指定されていない、旧総合支所跡地に建設することとしております。
電話	令和2年10月5日	令和8年度までの整備計画になっていますが、時間がかかりすぎではないでしょうか。スケジュールの短縮を図り、早期完成を希望します。	令和2年8月26日から9月17日にかけて、「新南陽総合支所の整備に関する説明会」を開催し、合計で101名の方にご参加いただき、様々なご意見を頂戴しました。こうした意見を踏まえ、早期完成を目指し、関係部署と協議を重ね整備スケジュールの見直しを行いました。 当初、令和3年度に基本計画の中で庁舎の建設位置・規模等を決定する予定でしたが、見直し後は、令和2年度中に建設位置を決定することとし、整備スケジュールを短縮します。 令和3年度から基本設計の作成に取り掛かり、令和6年度中の供用開始を目指します。